日本共産党高槻市会議員団

市民の暮らしを支え 災害から命を守り 子育てに優しい高槻市を

※きよた純子　出町ゆかり　中村れい子
※は発言者

保育士配置の見直しは

議員　保育士の配置基準が変更されましたが、配置を見直すのか伺います。

市長　公立の就学前児童施設では、経過措置など改正内容の詳細や今後の国の動向を注視しながら、法令等に基づく必要な見直しや適切な職員配置を行っていきます。

　また、民間施設でも、職員配置基準の見直しによる給付費の加算措置が設けられることとされています。

　依然として全国的な保育士不足が続いており、保育士確保が困難な状況ですが、経過措置等の内容を踏まえ適切に対応していきます。

▲保育士の配置基準が見直される就学前児童施設

河川氾濫時の避難

議員　洪水時緊急安全確保施設の指定を行うとのことですが、指定施設と市民への周知について伺います。

市長　当該施設は大規模水害時、浸水しない地域への避難のタイミングを逸した場合に、緊急的に命を守ることができる施設として位置付け、浸水しない上階への緊急退避が可能な小中学校30施設を新たに指定する予定です。

　市民への周知は、垂直避難時の備えや逃げ遅れた場合の洪水時緊急安全確保施設への緊急退避など、大規模水害時における避難行動などをまとめたパンフレットを作成し、本年6月に市内全戸に配布する予定です。

子どもの医療費 完全無償化による効果は

議員　子どもの医療費を完全無償化する方針ですが、これによる効果を伺います。

市長　大阪府内初の取り組みとして、令和7年4月診療分から、現行の助成制度における自己負担額の廃止と、入院時の食事療養費相当額の助成で、子どもの医療費の完全無償化に向けた取り組みを実現します。

　これにより、経済的理由での受診控えなどの減少が期待でき、早期発見から早期治療、重症化予防を一層推進できると考えています。

　更なる負担軽減を図ることは、虫歯など定期的かつ長期間の通院が必要な場合や、突発的な病気の際に必要な医療を受けることができ、子どもの健全育成につながるものと考えています。

性暴力への対策を

議員　電車に乗るなどの当たり前の日常が性暴力の危険にさらされていることを重く受け止め対策を取る必要がありますが、見解は。

市長　性犯罪や性暴力は、犯罪行為であり重大な人権侵害です。本市では、広報誌等での性暴力被害の予防啓発のほか、性犯罪に関する法改正を情報誌で発信するなど取り組みを強化しています。また、若年層の性暴力被害予防月間に、JR高槻駅前に啓発ポスターを掲示するなど、痴漢を含めた性犯罪・性暴力の被害防止に向け、広く周知しています。

　今後も、様々な性犯罪・性暴力の抑止に向け、取り組みを進めていきます。

録画配信で本会議をチェック！

　高槻市議会では、もっと気軽に市議会の活動を知っていただけるよう、本会議の録画映像をインターネットで配信しています。
　過去1年間の本会議の録画映像を24時間いつでも確認できます。
　ぜひご覧ください。

▲本会議の録画配信